

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

「アクションプログラム 2015」実施結果について

別冊資料（冊子） 「アクションプログラム 2015」実施結果

参考資料 川崎市政策評価審査委員会について

資料 1 「アクションプログラム 2015」実施結果について
(総務企画局)

平成28年8月31日
総務企画局

1 趣旨

- 新たな総合計画の進行管理は、**成果指標による評価**を実施し、計画の達成状況等を**市民目線でわかりやすく公表する**など、市民満足度の向上を目指し、効率的・効果的な施策の推進を目的として行います。
- 計画の評価については、内部評価及び**外部評価による客観的な評価**を行い、取組の改善や効率化、次期計画への反映等に活用します。
- この外部評価の実施機関として、「川崎市附属機関設置条例」を改正し、平成28年度から、「川崎市政策評価審査委員会」（以下「委員会」という。）を附属機関として位置づけました。

2 委員会の所掌事務

○所掌事務

総合的な計画における**重要な政策等の評価**①に関して**調査審議する**②こと

- ① 重要性や課題解決の緊急性が高い施策、市民生活に直結し達成状況等を示す必要性の高い施策については、計画の推進につなげるための**重点的な審議**を行います。
- ② これまでの“内部評価結果の市民へのわかりやすさ”を視点とする評価からさらに進め、**市民目線・専門的視点で、内部評価結果の公正性、適正性、妥当性等の検証**を行い、**より効率的・効果的に施策の推進を図るための評価**を行います。

3 委員の構成・委員の任期・評価の方法

○委員構成

学識経験者6人（社会福祉、教育行政、公共経済、都市計画、地方行政・評価制度等の識者）及び**公募市民3人**の計**9人以内**で組織します。

○委員の任期

委員会は、各実施計画の**中間評価（2年に一度）**及び**総括評価（計画期間終了後）**までを担うものとし、委員の任期は**3年間**とします。

第1期実施計画		第2期実施計画			第3期実施計画					
H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
	中間評価	総括評価		中間評価	総括評価		中間評価		総括評価	
【委員第1期(3年)】 H28年10月～H31年9月		【委員第2期(3年)】 H31年10月～H34年9月			【委員第3期(3年)】 H35年10月～H38年9月					

○評価の方法

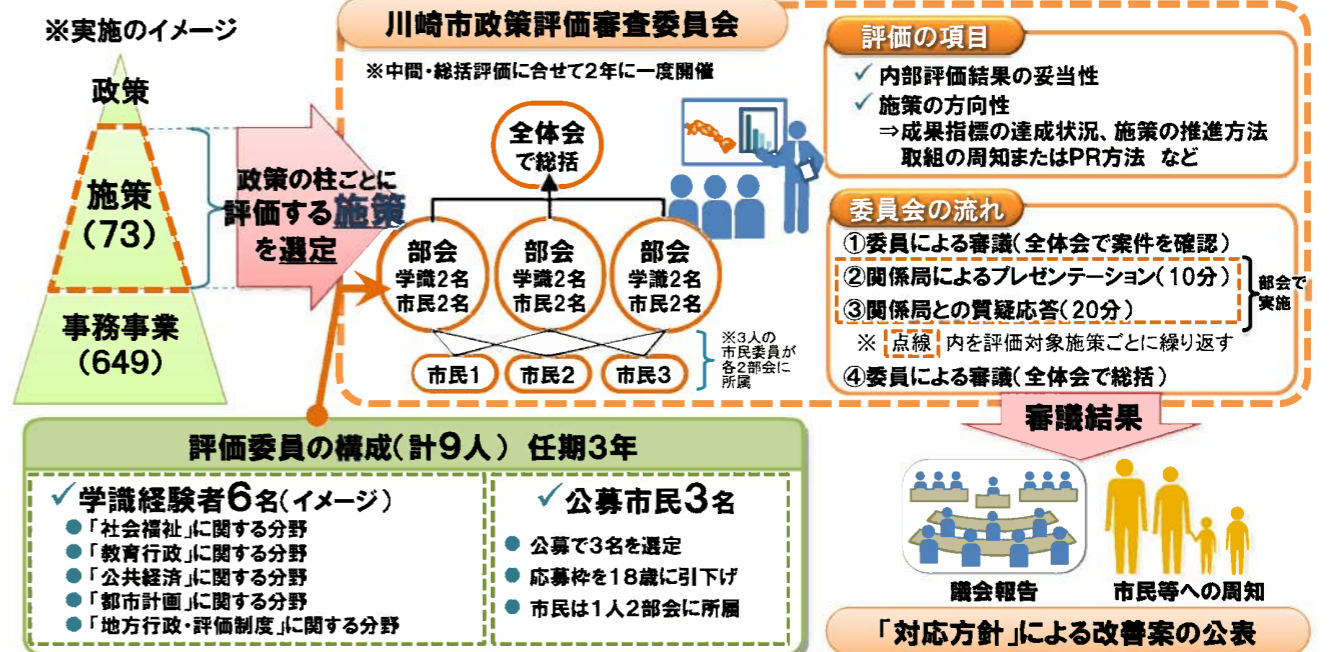
施策全体の総合評価とともに、施策実施局のヒアリング等を通じて、**専門的見地等から具体的・重点的に審議する**ため、施策を分野別に分類して審議する**部会方式**を検討します。

4 外部評価のイメージ

新たな外部評価制度について(イメージ)

新たな外部評価の対象と主なポイント

- ① 外部評価の対象は、**委員意見も踏まえ、政策の柱ごとに施策を選定**して行う
- ② **学識経験者、市民等**による評価を実施し、**専門的視点や市民目線による視点**により、**より効果的に施策を推進していく**ために行う
- ③ 施策の説明を十分に行い、市の取組を**分かりやすく伝えていく**
- ④ 委員会で指摘された意見に対する**対応方針を作成・公表し、PDCAサイクルの実現を図る**



5 評価のスケジュール



○評価委員の選定

市民委員については、7月に募集を終了し、**3名の委員を選任**しました。また、**学識経験者**については、**各分野の識見を有する大学教授等**を中心に選任します。

○委員会の開催

委員会は、平成28年度は2回の開催を想定しています。第1回は**制度の概要説明や外部評価の視点等の評価方針を検討**し、第2回は**中間評価に向けた具体的な評価の検討に着手**します。

「アクションプログラム 2015」実施結果について（総務企画局）

1 趣旨

「アクションプログラム 2015」実施結果として、総務企画局の重点課題等の評価結果を取りまとめました。

2 「アクションプログラム 2015」実施結果（概要）

1 重点課題等の実施結果

「アクションプログラム 2015」に基づく重点課題等について、重点課題に位置付けられた総務企画局の事務事業は8事業ありましたが、すべての事務事業で目標をほぼ達成しました（表1）。

また、市全体で56の重点課題のうち、総務企画局が所管する課題は3課題あり、それらについて、重点課題の推進状況の総括的な評価を行った結果、「重点課題の解決に向けた目標」の実現に向け、概ね目標どおりの成果があったという評価となりました（表2）。

表1 重点課題に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（総務企画局）

達成状況区分	内 容	事業数	構成比(%)
1 目標を大きく上回った	<ul style="list-style-type: none"> 目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 目標に明記した数値を大きく上回った。 	—	—
2 目標を上回った	<ul style="list-style-type: none"> 目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 目標に明記した数値を上回った。 	—	—
3 目標をほぼ達成した	<ul style="list-style-type: none"> 目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 目標に明記した数値とほぼ同じであった。 おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 	8	100.0
4 目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> 目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 目標に明記した数値を下回った。 所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 	—	—
5 目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> 目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 目標に明記した数値を大きく下回った。 	—	—
合 計		8	100.0

表2 重点課題の総括的な実施結果区分別 課題数（総務企画局）

実施結果 区分	基本戦略別の内訳					合計
	基本戦略1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	基本戦略2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	基本戦略3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	基本戦略4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	基本戦略5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	
目標を上回る成果があった	0	0	0	0	0	0
目標どおりの成果があった	2	0	0	1	0	3
目標を下回る成果があった	0	0	0	0	0	0
ほとんど成果なし	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	0	3

2 各重点課題の実施結果について

重点課題名

掲載頁

評価結果

- (1) 【防災機能の強化】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜冊子16頁＞ 目標どおりの成果
- (2) 【本庁舎等の建替えの取組】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜冊子20頁＞ 目標どおりの成果
- (3) 【市内の公衆無線LAN環境の整備】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜冊子94頁＞ 目標どおりの成果